



2019年11月1日

各 位

会社名 鈴 茂 器 工 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 美奈子
 (コード番号：6405 東証 JASDAQ)
 問合せ先 経営企画部長 秋田 一徳
 (TEL. 03-3993-1396)

業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2019年5月14日に公表いたしました2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の第2四半期累計期間の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正について（2019年4月1日～2019年9月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,450	300	300	80	12.35
今回修正予想 (B)	4,650	420	420	160	24.70
増減額 (B-A)	200	120	120	80	—
増減率 (%)	4.5	40.0	40.0	100.0	—
(参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	3,940	224	227	155	23.98

2. 2020年3月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正について（2019年4月1日～2019年9月30日）

	売 上 高	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,900	240	40	6.18
今回修正予想 (B)	4,150	330	100	15.44
増減額 (B-A)	250	90	60	—
増減率 (%)	6.4	37.5	150.0	—
(参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	3,498	106	73	11.27

3. 修正の理由

第2四半期累計期間の売上高につきましては、主力の米飯加工機械関連事業における国内既存顧客への寿司ロボット機械入替、及び新規開発の大型機械の販売が堅調に推移したほか、消費増税による駆け込み需要が想定を上回った結果、前回公表予想を上回る見通しとなりました。

営業利益、経常利益につきましては、前述の売上高が上回る見通しとなったことのほか、原価率、販売費及び一般管理費が概ね予定通り推移したため、前回公表予想を上回る見通しとなりました。

四半期純利益につきましては、前述の要因に加えて、退任役員の保険解約返戻金を特別利益として計上した結果、前回公表予想を上回る見通しとなりました。

なお、通期業績につきましては、国内における消費増税後の国内景気の動向、及び海外における国際情勢が不透明であるため、現時点では前回公表予想の修正を行わないことといたしております。今後の業績動向等を注視し、修正する必要がある場合は、速やかに開示いたします。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は上記予想数値と異なる場合があります。

以上